

製品名: BUILD.一貫V 項目1: 計算方法, 出力結果 項目2: 壁, 荷重関係

タイトル:「BUILD.一貫V」と「BUILD.一貫IV+」の結果で「地震力用建物重量」の壁重量が異なる

Q.

「BUILD.一貫V」と「BUILD.一貫IV+」の計算結果を同一物件で比較した時に、「地震力用建物重量」の出力において、各階の壁重量が異なっていました。原因は何でしょうか？

A.

壁重量に関わる処理が以下のように変更されたためです。

①複数開口がある場合

「BUILD.一貫IV+」では、開口が複数あった場合、包絡して一つの開口として扱い、開口間の壁板を包絡部の仕上げ重量としてならして計算しています。
「BUILD.一貫V」では、開口が複数あった場合、開口一つ一つを個別に扱います。この時、壁自重を上側の階と下側の階に分配しますが、個別の開口と包絡した開口では上下の分配率に差が生じます。

②大梁が立面的に傾斜している場合

「BUILD.一貫IV+」では、左右の柱の高さの平均値の高さとしています。
「BUILD.一貫V」では、各壁を階高の1/2で上下に分割しています。よって、上下の階への分配率の差が生じます。

③大梁にハンチがある場合

「BUILD.一貫IV+」では、ハンチが無いものとして壁重量を計算します。
「BUILD.一貫V」では、ハンチを考慮して壁重量を計算します。よって、差が生じます。